

株式会社アトス・インターナショナル  
株式会社アトス・ブロードキャスティング  
番組審議委員会 議事録

1. 日時：2025年7月9日(水) 15:30～16:10

2. 場所：株式会社アトス・インターナショナル本社 会議室(オンライン形式)

3. 出席者：

○番組審議委員(敬称略)

番組審議委員長 齋藤 純一(株式会社 IPG ネットワーク 監査役)

番組審議委員 五十嵐 弘之(日本コロムビア株式会社 取締役 CFO、株式会社ドリーミュージック  
取締役)

番組審議委員 佐藤 毅(ゼフロユニテッド株式会社 代表取締役社長)

番組審議委員 松山 梢(映画ライター)

番組審議委員 田中 良典(一般財団法人ヤマハ音楽振興会 音楽普及部 音楽普及グループ)

番組審議委員 望月 秀城(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 経営企画グループ  
シニア アドバイザー)

番組審議委員 谷口 元(株式会社東京谷口総研 代表取締役社長) (書面参加)

番組審議委員 山崎 哲央(元株式会社テレビ神奈川プロデューサー、元株式会社 tvk コミュニケーシ  
ョンズ取締役、元関内ホール館長) (書面参加)

○番組供給事業者

株式会社アトス・インターナショナル

堀口 昭典(代表取締役社長)

原田 真紀子(取締役)

井上 靖(執行役員)

株式会社アトス・ブロードキャスティング

二階堂 敬(執行役員 営業統括)

4. 審議事項

① ミュージック・グラフィティ TV

〈チャンネルの状況、編成内容〉

過去1年間のミュージック・グラフィティ TV の各月の一押し番組として、2024年7月に「『夏歌』3日間、『22番組、21時間』大特集!」、2024年9月に「9月9日「親子でCOOKの日」食欲を刺激する番組17時間大特集」、2024年11月に「文化の日3連休特別編成懐かし探偵団40番組32時間一挙放送!」、2024年12月に「グラフィティ TV『年末エモ歌フェスティバル2024』」などの特別編成番組を放送。

今回は過去1年間の一押し番組の中からピックアップ番組として、今年4月放送の「名曲探訪」を紹介

介する。

昭和の時代を彩った名曲の数々など、楽曲の構成やアレンジ、名曲誕生秘話に迫るトーク番組「名曲探訪」。後世に残る名曲を残した作曲家、作詞家、編曲家、シンガー、演奏家のこの1曲”マスターピース”について、昭和歌謡に造詣の深い俳優・音楽家の「半田健人」が深掘り。第1回目となる4月のゲストは、松原みきの「真夜中のドア～stay with me」の世界的リバイバルヒットで注目を集めるシティポップを代表する作曲家「林哲司」。80年代には、竹内まりや「SEPTEMBER」、上田正樹「悲しい色やね」、杏里「悲しみがとまらない」などなど、数えきれないほどのヒット曲を世に送り出した日本を代表するメロディメーカー、林哲司のマスターピースに迫る。

「名曲探訪」はミュージック・エアとのコラボ番組として、ミュージック・エアでも放送。今後もミュージック・グラフィティ TV の主力番組として継続して放送していく。

## ②地方競馬ナイン

〈チャンネルの状況、編成内容〉

地方競馬の実況中継を 365 日生放送で行っているチャンネル。レース実況中継、レースダイジェスト番組、レース展望番組を昨年から引き続き放送。今回は過去 1 年間のピックアップ番組として、「ホッカイドウ競馬 2 歳戦レビュー 2024」を紹介する。

ホッカイドウ競馬は全国の有数の馬産地である北海道の日高地区にある門別競馬場で開催。実際多くの競走馬がこの門別競馬場からデビューしていき、成績優秀な競走馬は JRA に行ったり、また各地の競走場へと巣立っていく。こうした背景からホッカイドウ競馬の 2 歳戦というのは熱心な競馬ファンの注目を浴びている。この番組「ホッカイドウ競馬 2 歳馬戦レビュー」は、元々ホッカイドウ競馬の方で放送していた番組「2 歳馬ダイジェスト」を、単純な時系列の並びではなく、レースの種別ごとに再編成し、そこに地方競馬では定評のある評論家の古谷剛彦氏の解説を入れて放送。昨年度から放送を開始し、かつてこういった番組はなかったということから、地方競馬の関係者からも好評価を得た。安全な運行・放送を主眼にしながら、こうした番組も制作して、単なる実況中継放送だけではない、競馬番組として付加価値を付けてくということを念頭において年間編成を行っている。

年間トピックスとしては、2024 年度の総放送日数は 970 日と過去最多を記録。対象競馬場の総開催日数 1045 日の 92.8%を放映。

## ③寄席チャンネル

〈チャンネルの状況、編成内容〉

放送では、ケーブル TV 局での 24 時間放送、または、特定の時間帯を選択する部分導入や、固定の料金で番組を月替わり・年替わりで供給するサブスクリプション型の番組供給も好評。

配信では、Amazon Prime ビデオチャンネルでの利用者が多く、演者・演目内容によってなど、作品単位で利用するユーザーが堅調で、好評が続いている。

（編成番組紹介）

### ①落語界の王道というべき人気の演者の会

年に 1～2 回のペースで必ず収録。特別に意味を持つ会を狙い、本数を絞り込み。

・柳家さん喬、柳家喬太郎、柳家花緑

- ・昨年、浪曲界で初の人間国宝となった京山幸枝若
- ・埼玉の能楽堂で初めての落語会、古今亭志ん輔

②旬の話題に乗った主旨の公演にも注目。

- ・大河ドラマ、薦重や浮世絵師・北斎にまつわるテーマの創作講談、人気の怪談の会など。
- ・「毎年恒例」の一門会：「地元」で愛されてきた会、「柳家権太楼」師匠が病氣療養中で不在の中で開催。本格的な古典落語を聞かせる見ごたえのある会となった。

③ファンが継続的に足を運ぶ人気の会

収録の際の会場で、または演者による告知協力も、寄席チャンネルの認知度アップに繋がっている。

コント赤信号・小宮孝康の役者の落語会、狂言と落語を融合した創作「落言」の会、三肥良乱ショー、古来落語家が行ってきた芝居を復刻した鹿芝居の会。

④有力な若手噺家の間では、これまでの落語ファン以外の人たちに向けた活動をしていこうという気運が、以前にも増して強まっている。観客層が違う、創作落語で定評のある噺家の会。

- ・林家さく麿、春風亭昇輔、桂南海

⑤変わり種 番組

- ・ヘビメタ×浪曲
- ・パペット落語「西遊記」
- ・江戸粋曲 x ボサノヴァ
- ・天狗連

このほか、今年の番組から

- ・102歳の浪曲曲師、玉川祐子を囲み、育てた若手浪曲師が浪曲やトークを披露。
- ・昭和57年会＝五派（落語協会、落語芸術協会、など）各会派からの気鋭の5人の落語会。
- ・ヲタク落語、春風亭吉好の落語会

今後の方針として、寄席・演芸好きで足を運ぶ客層には、最近少しずつ変化がみられており、嗜好の変化にも感度上げていくと共に、トラディショナルな本格的な高座、という「両輪」での編成を今後も継続。

以上

